

参考  
第 三 號

秘 寫

大正十一年法律第三九號尼港事件救恤ニ關スル  
概要

抄

第 三 號

大正十一年法律第三九號尼港事件救恤ニ關スル概要

大正十一年法律第三九號ニ依ル救恤ハ「露西亞内又ハ露支國境地  
方ニ在リタル帝國臣民ニシテ露國政變及西比利亞事變ノ際引揚又  
ハ遭難ノ爲メ損害ヲ被リタル者」全体ニ對シ總額百五十萬圓以內  
ノ金額ヲ救恤シタルモノニシテ尼港事件被害者ハ右金額ノ内三分  
ノ一以上ノ高ノ救恤ヲ受ケタリ即チ内譯左ノ如シ  
申請總件數二五三件、此内重複、否認又ハ申請者ノ希望ニ依リ却  
下シタルモノ計二四件アルヲ以テ實際救恤ヲ受ケタルモノハ二二  
九件（二二九人）ナリ、此内殉難者ノ生命ニ對スル救恤額ハ計二  
七四、四〇〇圓ニシテ其人員數ハ二八二人ナリ（内大人（十四歲  
以上）二六〇人、小人（十四歲未滿）二二人）而シテ大人ニ對シ  
テハ一入當リ一千圓、小人ニ對シテハ一入當リ七百圓ノ割合ニテ  
救恤セリ又尼港被難民ノ財産ニ對シテハ總計四九九、八一六圓ヲ  
救恤セリ

元來尼港事變ニ依ル前回ノ救恤申請額ハ前記二五三件ニテ約八百六十萬圓ニ上リタルモ右ハ勞働者、勤勞者等ノ豫想利益及被害者ノ將來得ヘカリシ收入ヲ豫想シタル見積ヲ損害トシテ計上シアリテ實損害額ニ比シ過大ニ失スルノミナラス、被害者ノ多數ハ當時死亡シタルヲ以テ當時ノ財産狀態ハ遺族又ハ近親者ニ於テ漠然ト想像セン所ヲ根據トシテ申請シ居ルモノ多ク從テ其實損害額ヲ算定スルコトハ甚タ困難ナリ從テ尼港殉難者ノ財産損害ニ付テハ事變前略ホ判明シ居リタルモノヲ除クノ外、多クノ場合其被害當時ノ財産狀態前通ノ通り不明ナリシニ付已ヲ得ヌ一般西比利亞方面在留各職業者ノ財産狀態ヲ參酌シテ此等ノ者ニ對スル救恤額ヨリ幾分率ヲ引上ケ夫々各職業ニ付一定ノ額ヲ定メ救恤セリ例ヘハ理髮業、洗濯業又ハ醜業婦等ノ財産ヲ一、二、三等ニ區分シ其最高額ヲ酌宛テ支給シタルカ如シ

參考  
第  
號

秘  
寫

46

第  
四  
號

大正十二年法律第三十九號ニ依ル救恤概要